

企業がクラウドから遠ざかる

# 5つの神話

ベーシックなストレージと検索の時代は終わりました。組織は真のビジネス価値を推進するため、完全なプロセス管理、可視性、自動化、および必要な情報を即時に配信するコンテンツサービス・プラットフォームを必要としています。また、お客様のビジネスに合わせて進化し、成長できることも無視できません。

しかし、ソリューションが複雑化し、組織全体に普及すればするほど、プラットフォームのサポートや拡張を担当するITスタッフに負担がかかります。そのため、コンテンツサービスの将来は、皮肉なことにクラウドに大きく依存しています。クラウドで提供されるソリューションに投資することで、社内スタッフの負担は軽減され、プラットフォームを熟知している人材が責任者になります。しかし、オンプレミス展開ではなくクラウド展開を選択する説得力のある理由があるにもかかわらず、一部の企業は、未だに躊躇しています。

以下では、クラウドベースのコンテンツサービス・プラットフォームの真のメリットを明らかにするため、クラウド展開にまつわる一般的な5つの神話を紹介します。

## 1 ソリューションをクラウドで運用するにはコストがかかりすぎる！

68%

IDG<sup>\*</sup>が調査したビジネスおよびITリーダーの68%が、クラウドのメリットとしてコストを挙げています。初期費用が高く思える場合もありますが、実際にはオンプレミスでの展開には、ハードウェア、サポートスタッフ、トレーニング、導入期間の延長など、考慮すべき要素やコストが数多くあり、時間の経過とともに価格が本当に高くなってしまいます。

## 2 データのセキュリティを他人の手に委ねるのはリスクが大きすぎる！

52%

調査対象者のうち52%が、セキュリティをクラウドの運用上のメリットとして挙げ、オンプレミス展開でのメリットとして挙げた人はわずか22%に過ぎませんでした。適切なクラウドプロバイダーは、お客様のデータを保護するために、専門的な手法を絶えず評価し、進化させています。これにより、あらゆる形態の脅威に備えようとする社内のセキュリティチームの負担やリソースコストを軽減できます。

## 3 SaaSプラットフォームに依存することで、パフォーマンスと可用性が損なわれる！

78%

ビジネスリーダーとITリーダー<sup>\*</sup>の78%が、クラウドベースのプラットフォームのメリットとして可用性を挙げています。ホストされたコンテンツサービスソリューションに移行すると、実際にアプリケーションのダウンタイムを削減でき、最大99.99パーセントの可用性を提供できます(ダウンタイムは最大で年間52分!)

## 4 プラットフォームをクラウドでホストすると、プラットフォームを変更する柔軟性が低下する！

70%

調査対象者の70%が、オンプレミス展開よりもクラウドを選択した方が実際には柔軟性が高いと考えています。あなたやあなたのスタッフがそれぞれの分野の専門家であるように、クラウドプラットフォームを管理するエンジニアもその分野の専門家です。ホストされたソリューションを使用するということは、それを構築した人やその専門家と一緒に仕事をすることを意味します。これにより、展開が迅速になり、ソリューションを進化させる際の選択肢について貴重な知見を得ることができます。

## 5 業界や政府の規制への対応で、クラウドソリューションを信用できない！

44%

調査対象者の44%が、クラウドのメリットとしてコンプライアンスを挙げています。適切なプロセスやレポートの調査と実装は、コンテンツサービス・プラットフォームを展開するプロセスでは、膨大な業務です。お客様の業界や地域に精通したクラウドベースのソリューションプロバイダーと提携することで、刻々と変化する規制コンプライアンスに対応する負担を軽減できます。

クラウドで展開するコンテンツサービスに関する詳細は [Hyland.com/Cloud](https://Hyland.com/Cloud) >> を参照ください。

Hyland<sup>®</sup>

\*出典: IDG Research Services, 2018